

## センターシステムとネットワークの沿革



1989年(平成元年)2月～1994年(平成6年)1月

センターシステムのメインコンピュータにスーパーミニコン日本DG ECLIPS MV/20000model2、専用端末などで構成されたシステムを導入。附属図書館システムにはスーパーミニコン日本DG ECLIPS MV/7800XPとPC端末などで構成されたシステムを導入。

1991年9月にメールの利用が始まり、1992年7月にインターネット接続される。

1992年12月に学内LAN(Ethernet-LAN)が全学に敷設され、研究室等のPCを学内LANに接続。



1994年(平成6年)2月～1998年(平成10年)1月

システム更新により、各種サービス用サーバ、ファイルサーバ、研究支援用WS及びPCなどで構成されたシステムを導入。附属図書館システムは引き続き前システムと同じ構成のシステムに機能追加を行った。

1994年4月から基幹LAN(FDDI-LAN)の運用を開始。

1996年3月からATM-LANの運用を開始。

1996年10月からSCSの運用を開始。

1997年4月からPPP接続回線の運用を開始。

また、2003年度まで九大との専用回線も随時高速化される。



1998年(平成10年)2月～2002年(平成14年)2月

システム更新により、各種サービス用サーバ、ファイルサーバ、高速計算サーバなどで構成されたシステムを導入。附属図書館システムは、図書館とNTTデータ通信が共同で開発したPCサーバ・クライアント型システムを導入。また、基幹LANにFastEthernet-LANを導入し、FDDI-LANと併用運用。

1998年8月からFirewallの運用を開始

1999年2月に佐賀医科大情報処理センターシステムの導入。

2001年3月から電子図書館システムの運用を開始。

2001年9月から基幹LAN(GigaEthernet-LAN)の運用を開始。



2002年(平成14年)3月～2006年(平成18年)2月

システム更新により、高速計算サーバ、研究支援サーバ、ファイルサーバなどで構成されたシステムを導入。附属図書館システムは、前システムを継承し機能追加を行った。また、各種システムの認証で活用される統合認証システムを導入。

2002年4月から端末用LANの運用を開始。

2003年3月に本学と佐賀医大間を専用回線で接続。

2003年5月に本学と九大間の専用回線を100Mb/s V-LAN回線に高速化。

2004年2月に医学サブセンターシステムの更新。



2006年(平成18年)3月～2010年(平成22年)2月

システム更新により、研究支援サーバ、ファイルサーバ、統合認証システムなどで構成されたシステムを導入。附属図書館システムは、前システム及び電子図書館システムを継承し機能追加を行った。また、事務情報、学生情報システムを導入。

2006年11月から機関リポジトリの運用を開始。

2006年9月運用開始の経済学部演習用システムと2007年4月運用開始の附属小・中学校の教育用システムの導入支援。

各種セキュリティ対策装置等の導入。

## 教育用システムの沿革



1989年(平成元年)2月～1994年(平成6年)1月

情報処理センターに50台の端末が設置できる演習室がなかったため、附属図書館の2階に情報処理演習室を設置。

PC端末に小スペース型のNEC PC9801UV(外付けHDD20MB付)51台とシリアルプリンタ10台を設置。

教育用システムの導入により多人数の情報処理教育と学内LANで接続された情報処理センターのメインコンピュータを使ったプログラミング演習を実現。



1994年(平成6年)2月～1998年(平成10年)1月

情報処理センターに隣接して2階建ての演習棟が、1993年12月に新築される。

システム更新により、教育用UNIXサーバを7台、PC端末にNEC PC9801BX(メモリ7.6MB, HDD160MB)を大演習室に93台、中演習室に43台、小演習室に12台設置。WindowsとUNIXによる情報処理教育ができるシステムを構築。また、1994年から情報基礎科目演習が開講され、TA制が導入される。



1998年(平成10年)2月～2002年(平成14年)2月

システム更新により、教育用UNIXサーバを20台、PC端末に高岳製作所 MINTPC(メモリ64MB, リムパックHDD2GB, MOドライブ)を大演習室に108台、中演習室に54台、小演習室に18台設置。

Windowsにユーザ認証によるログインシステムを導入しセキュリティを強化。

HDDのクリーニングシステムの導入、個人用ファイルをMOドライブに保存など管理コストの軽減を図る。



2002年(平成14年)3月～2006年(平成18年)2月

システム更新により、全国の大学に先駆けディアルブートVIDシステムを導入しPC端末のディスクレス化を実現。

VIDサーバを20台、PC端末に高岳製作所 MINTPC(メモリ512MB)を大演習室に110台、中演習室に55台、小演習室に38台設置。

PC端末のディスクレス化による個人用ファイルの一元管理、印刷管理システムの導入などで大幅な管理コストの削減とPC端末の省電力、モニターの液晶化などによる節電を図る。



2006年(平成18年)3月～2010年(平成22年)2月

システム更新により、ディアルブートVIDシステムを継承し、VIDサーバを10台、PC端末にミントウェブ MintPC(メモリ1GB)を大演習室に110台、中演習室に55台、小演習室に38台設置。

また、附属図書館に55台、キャリアセンターに10台設置し、PC端末を増設。

前システムに引き続き印刷管理システムを利用、PC端末の小型化、液晶モニターの大画面化などを行う。